

月周回衛星かぐや(SELENE)  
プロダクトフォーマット記述書  
～プラズマイメージャ(UPI)編～

Version 1.0

平成 21 年 11 月 1 日

# 目次

1. 概要 .....	1
1.1 目的 .....	1
1.2 本フォーマット記述書の構成 .....	1
1.3 データセット.....	2
1.3.1 プロダクト .....	2
1.3.2 カタログ情報ファイル .....	3
1.3.3 サムネイル画像ファイル .....	3
1.4 対象プロダクト .....	4
2. UPI-TEX プラズマ圏画像 .....	5
2.1 ファイル命名規約 .....	5
2.2 ラベルフォーマット.....	6
2.3 データオブジェクトフォーマット.....	7
2.4 カタログ情報ファイルフォーマット .....	8
3. UPI-TVIS 画像.....	9
3.1 ファイル命名規約 .....	9
3.2 ラベルフォーマット.....	10
3.3 データオブジェクトフォーマット.....	11
3.4 カタログ情報ファイルフォーマット .....	12

## 1. 概要

### 1.1 目的

本文書は、宇宙航空研究開発機構（以下、「JAXA」という。）が、月周回衛星かぐや（以下、「SELENE」という。）搭載のプラズマイメージャ<sup>※1</sup>（以下、「UPI」という）のプロダクトファイル<sup>※2</sup> およびカタログファイルのフォーマットを記述するものである。

※1：UPIのミッションについては、下記の「かぐやプロジェクトホームページ」および「かぐや画像ギャラリー」を参照。

- ✓ かぐやプロジェクトホームページ  
[http://www.kaguya.jaxa.jp/ja/equipment/upi\\_j.htm](http://www.kaguya.jaxa.jp/ja/equipment/upi_j.htm)
- ✓ かぐや画像ギャラリー  
[http://wms.selene.darts.isas.jaxa.jp/selene\\_viewer/jpn/observation\\_mission/upi/](http://wms.selene.darts.isas.jaxa.jp/selene_viewer/jpn/observation_mission/upi/)

※2：SELENEのデータフォーマットは、NASAのPDS(Planetary Data System)を元に定められている。ただし、完全準拠はしていない。

### 1.2 本フォーマット記述書の構成

本フォーマット記述書の構成を表 1-1 に示す。

表 1-1 本フォーマット記述書の構成

No.	参照先	項目	記述内容
1	1.3 節	表 1-2 UPI プロダクト一覧	本記述書で記述しているプロダクト一覧として、プロダクトの名称、オブジェクト形式、プロダクトの構成について記載している。
		表 1-3 各プロダクト説明	No.1 のプロダクト一覧で示した各プロダクトについて、データに含まれる内容、観測方法等に関する解説を記述している。
2	X 章	“プロダクト”	No.1 のプロダクト一覧で示したプロダクトについて、ファイル命名規約、ラベルフォーマット、データオブジェクトフォーマット、カタログ情報ファイルフォーマットを記述している。
3	X.1 節	ファイル命名規約	No.2 で示したプロダクトについて、ファイル命名規約を記述している。
4	X.2 節	ラベルフォーマット	No.2 で示したプロダクトについて、オブジェクトのラベル部のフォーマットを記述している。
5	X.3 節	データオブジェクトフォーマット	No.2 で示したプロダクトについて、データオブジェクトのデータフォーマットを記述している。 (データファイルの拡張子は、プロダクト毎にユニークであるため、2.1 章のファイル命名規約を参照のこと)
6	X.4 節	カタログ情報ファイルフォーマット	No.2 で示したプロダクトについて、プロダクトのカタログ情報ファイル(拡張子.ctg)のフォーマットを記述。
7	X+1 章		
		以降、同様	

### 1.3 データセット

ある一つのデータセットは、プロダクト、カタログ情報ファイルおよびサムネイル画像ファイル (jpeg 形式) がセットで tar アーカイブされており、これを L2 データセットと呼ぶ。拡張子は「SL2」としている。ただし、サムネイル画像ファイルはプロダクト作成者の判断により省略される場合がある。

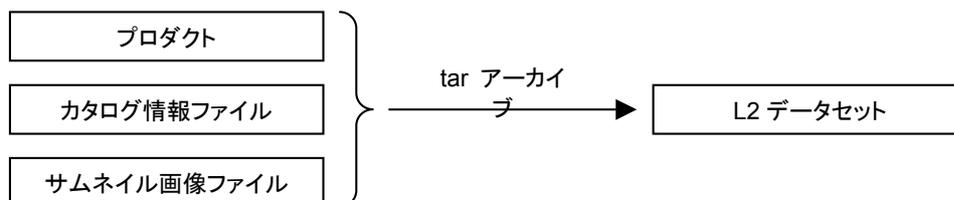


図 1-1 L2 データセットの構成

#### 1.3.1 プロダクト

プロダクトはラベル情報とデータオブジェクトが同一ファイルとして構成されている「アタッチド形式」と、ラベルとデータオブジェクトが別ファイルとして構成されている「デタッチド形式」がある。

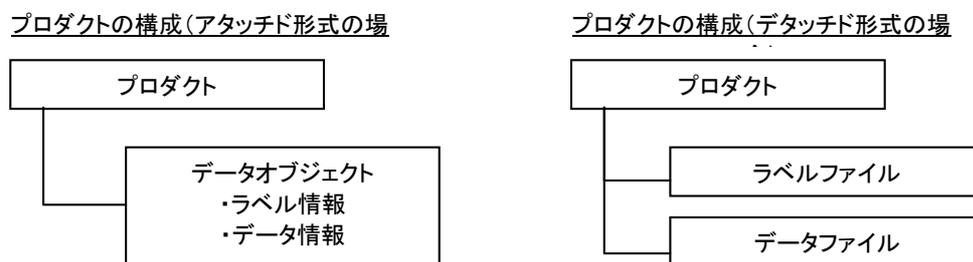


図 1-2 アタッチド形式とデタッチド形式

- (1) ラベルファイル(データオブジェクト(ラベル情報))  
ラベルファイル(ラベル情報)は、データファイル(データ情報)を識別するための情報をテキスト形式で格納する。
- (2) データファイル(データオブジェクト(データ情報))  
プロダクトのデータファイル(データオブジェクト(データ情報))は、データの形態に応じ、主に以下に示す種類の形式に分類される。
  - a) IMAGE : 画像データ  
2次元配列の画像データである。brightness level や display color を割り当てることによって、サンプルの視覚表示を作成されている。ひとつの IMAGE は、同じ数のサンプルを含んだ一連の Line から構成されている。  
※PDS standard reference V3.8 Appendix A.20 IMAGE を参照

- b) TABLE : 表形式データ  
表形式にデータを格納したファイルである。バイナリー、または ASCII で記述されている。  
※PDS standard reference V3.8 Appendix A.29 TABLE を参照
- c) SERIES : 時系列データ  
TABLE と同様に表形式にデータを格納したファイルである。TABLE に要素間の変化のパラメータ情報を追加した TABLE と同じ物理的な書式仕様を使用する。  
※PDS standard reference V3.8 Appendix A.24 SERIES を参照
- d) TEXT : 文字列データ  
プロダクトの解説を記述してあるシンプルなテキストファイルである。  
※PDS standard reference V3.8 Appendix A.30 TEXT を参照

### 1.3.2 カタログ情報ファイル

カタログ情報ファイルは、プロダクトの概要を説明するために添付される情報ファイルであり、L2DB サブシステムからプロダクトの検索を行う際に使用される。

### 1.3.3 サムネイル画像ファイル

サムネイル画像ファイルは、データオブジェクトの縮小画像であり、JPEG 形式等の画像である。なお、プロダクト作成者の判断により省略される場合がある。

## 1.4 対象プロダクト

本文書が対象とするUPIプロダクトの一覧を表 1-2 に示す。また、各プロダクトの説明を表 1-3 に示す。

表 1-2 UPIプロダクト一覧

処理レベル *1	プロダクト和名	Product ID	Object 形式	プロダクト構成 *2
標準 (Standard)	UPI-TEX プラズマ圏画像(公開データ)(He(30.4nm), O(83.4nm)) の2種類のプロダクトがある。	UPI_TEX_plasmasphere_open_a (末尾に、_He、_Oの拡張子をつける)	IMAGE	D
標準 (Standard)	UPI-TVIS画像(公開データ)(OI(557.7nm), OI(630nm), NaI(589.3nm), N2+(427.8nm), OH(>730nm), dark image) の6種類のプロダクトがある。	UPI_TVIS_open_a (末尾に、_O5、_O6、_Na、_N2、_OH、_DKの拡張子をつける)	IMAGE	D

※1 : 機器で得たデータはそのままでは人の目で見て分かる物では無いため、地上のシステムで各種加工や補正処理を施す必要がある。加工・補正処理の工程の差により標準処理と高次処理に分けることができる。高次処理は、標準処理のデータを研究目的等に応じて様々な加工・補正処理が施されたデータ。

※2 : A → アタッチド形式 D → デタッチド形式

表 1-3 各プロダクト説明

プロダクト名	プロダクト説明
UPI-TEX プラズマ圏画像(公開データ)(He(30.4nm))	UPI-TEX で観測されたプラズマ圏の極端紫外光画像(波長 30.4nm(ヘリウムイオン)、128x128ピクセル、約 10 分値、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TEX プラズマ圏画像(公開データ)(OI(83.4nm))	UPI-TEX で観測されたプラズマ圏の極端紫外光画像(波長 83.4nm(酸素イオン)、128x128ピクセル、約 10 分値、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(OI(557.7nm))	UPI-TVIS で観測された画像(波長 557.7nm(酸素原子)、512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(OI(630nm))	UPI-TVIS で観測された画像(波長 630.0nm(酸素原子)、512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(NaI(589.3nm))	UPI-TVIS で観測された画像(波長 589.3nm(ナトリウム原子)、512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(N2+(427.8nm))	UPI-TVIS で観測された画像(波長 427.8nm(窒素分子イオン)、512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(OH(>730nm))	UPI-TVIS で観測された画像(波長 730nm 以上(OH 分子)、512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))
UPI-TVIS画像(公開データ)(dark image)	UPI-TVIS で観測された画像(ダーク画像)(512x512ピクセル、単位は絶対光度(レイリー))

## 2. UPI-TEX プラズマ圏画像

### 2.1 ファイル命名規約

UPI プロダクトファイルを構成するラベル、カタログ情報ファイルの命名規約を以下に示す。なお、ファイル名は大文字、小文字の区別はしない。

表 2-1 UPI-TEX プラズマ圏画像 ファイル命名規約

データ種別	セパレータ	日時	セパレータ	データ処理レベル	拡張子
texi	_	YYMMDDhhmmss	_	open	.xxx
①	②	③	④	⑤	⑥

No	項目	桁数	内容
①:	データ種別	4	texi:TEX
②:	セパレータ	1	セパレータ。「_」に固定。
③:	年月日時分秒	12	観測開始日時を示す。YYMMDDhhmmss
④:	セパレータ	1	セパレータ。「_」に固定。
⑤:	データ処理レベル	4~6	データ処理レベルを示す。 open :公開データ
⑥:	拡張子	4	.sl2:L2 データセット (tar アーカイブ) .img:プロダクト .lbl:ラベル .ctg:カタログ情報ファイル

#### 【ファイル名サンプル】

texi\_070214074835\_open.sl2

## 2.2 ラベルフォーマット

UPI-TEX プロダクトの IMAGE オブジェクトラベルフォーマットを表 2-2 に示す。UPI-TEX の IMAGE オブジェクトのラベルには、基本項目、画像データオブジェクトフォーマット記述部が含まれる。

表 2-2 において、【固定】と示された以外の項目については、プロダクトの種別等に応じた数値、文字列が設定される。

表 2-2 UPI-TEX IMAGE オブジェクトラベル

No.	項目名	要素	型	値
<b>基本項目</b>				
1	PDS バージョン宣言	PDS_VERSION_ID = %s	char	PDS3【固定】
2	ファイルレコード形式	RECORD_TYPE = %s	char	UNDEFINED【固定】
3	ファイル名	FILE_NAME = %s	char	2.1 節 ファイル命名規約 参照
4	ミッション名	MISSION_NAME = %s	char	SELENE【固定】
5	探査機名称	SPACECRAFT_NAME = %s	char	SELENE-M【固定】
6	センサ名	INSTRUMENT_NAME = %s	char	UPI【固定】
7	プロダクト ID	PRODUCT_SET_ID = %s	char	表 1-2 Product_ID 参照
8	プロダクトバージョン	PRODUCT_VERSION_ID = %s	char	Ver.X.X
9	観測対象名	TARGET_NAME = %s	char	moon【固定】
10	コメント	COMMENT_TEXT = "%s"	char	
11	画像オブジェクト先頭位置	^IMAGE = %d <BYTES>	int	0 <BYTES>【固定】
<b>画像データオブジェクトフォーマット記述部</b>				
		OBJECT = IMAGE		
12	画像縦方向画素数	LINES = %d	int	XXX
13	画像横方向画素数	LINE_SAMPLES = %d	int	XXXXX
14	画素タイプ	SAMPLE_TYPE = %s	char	MSB_INTEGER【固定】 ※MSB_INTEGER の詳細については、PDS standard reference V3.5 Appendix C.1を参照
15	画素ビット長	SAMPLE_BITS = %d	int	XX
16	バンド格納種別	BAND_STORAGE_TYPE = %s	char	BAND_SEQUENTIAL【固定】 ※PDS standard reference V3.5 Appendix A.19 IMAGEを参照
17	バンド数	BANDS = %d	smallint	1【固定】
18	想定外値の代替値	INVALID_CONSTANT = %s	char	0【固定】
19	オフセット	OFFSET = %f	float	0.0【固定】
20	スケーリングファクター	SCALING_FACTOR = %f	float	1.0【固定】
21	積分開始日時	START_TIME = %s	char	YYYY-MM-DDThh:mm:ss
22	積分終了日時	STOP_TIME = %s	char	YYYY-MM-DDThh:mm:ss
23	ジンバル Az 角	AZIMUTH_ANGLE = %f	float	-90.000<°>
24	ジンバル El 角	ELEVATION_ANGLE = %f	float	-100.0000 <°>
25	TEX MCP 温度	TEX_MCP_TEMPERATURE = %f	float	-40.00<°C>
		END_OBJECT = IMAGE		
<b>終了記述</b>				
		END		

### 【ラベルサンプル:UPI-TEX プラズマ圏画像プロダクト】

PDS\_VERSION\_ID = PDS3  
 RECORD\_TYPE = UNDEFINED  
 FILE\_NAME = texi\_060505232619\_open.img  
 MISSION\_NAME = SELENE  
 SPACECRAFT\_NAME = SELENE-M  
 INSTRUMENT\_NAME = UPI  
 PRODUCT\_SET\_ID = UPI\_TEX\_moon\_level2a

```

PRODUCT_VERSION_ID      = Ver.1.0
TARGET_NAME             = moon
COMMENT_TEXT            = "Moon Hell 304 image"
^IMAGE                  = 0 <BYTES>

OBJECT =                IMAGE
  LINES                 = 128
  LINE_SAMPLES          = 16384
  SAMPLE_TYPE           = MSB_INTEGER
  SAMPLE_BITS           = 10
  BAND_STORAGE_TYPE     = BAND_SEQUENTIAL
  BANDS                 = 1
  INVALID_CONSTANT      = 0
  OFFSET                = 0.0
  SCALING_FACTOR        = 1
  START_TIME            = 2009-01-01T21:00:00
  STOP_TIME             = 2009-01-01T21:00:30
  AZIMUTH_ANGLE         = -90.000
  ELEVATION_ANGLE       = -100.0000
  TEX_MCP_TEMPERATURE   = -40.00
END_OBJECT              = IMAGE

END

```

### 2.3 データオブジェクトフォーマット

UPI-TEX プラズマ圏画像のデータオブジェクトフォーマットの概要を以下に示す。

- ピクセル:
  - ✓ UPI-TEX: 128×128 ピクセル
- データ型: 実数
- データ単位: Rayleigh

TEX データに関する詳細は、EPS 誌の「かぐや特集号」に収録されている下記の論文でも参照することができる。

Telescope of extreme ultraviolet (TEX) onboard SELENE: science from the Moon  
 I. Yoshikawa, A. Yamazaki, G. Murakami, K. Yoshioka, S. Kameda, F. Ezawa, T. Toyota,  
 W. Miyake, M. Taguchi, M. Kikuchi, and M. Nakamura  
 Earth Planets Space, Vol. 60 (No. 4), pp. 407-416, 2008

## 2.4 カタログ情報ファイルフォーマット

UPI-TEX プラズマ圏画像のカタログ情報ファイルフォーマットを表 2-3 に示す。

**表 2-3 UPI-TEX プラズマ圏画像 カタログ情報ファイルフォーマット**

項目名	要素	設定値のフォーマット	設定値の範囲	設定値
データファイル名(*1)	DataFileName	AAAA....AAAA (最大 31 桁)	任意の英数字	プロダクトによる (2.1 節 ファイル命名規約 参照)
データファイルサイズ	DataFileSize	NNNNNNNNNNNN (最大 12 桁)	単位:バイト	プロダクトによる
データファイルフォーマット	DataFileFormat	AAAA....AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	PDS【固定】
機器名	InstrumentName	AAAA....AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	UPI【固定】
処理レベル	ProcessingLevel	AAAA....AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	プロダクトによる (表 1-2 処理レベル 参照)
プロダクト種別	ProductID	AAAA....AAAA (最大 30 桁)	任意の文字列	プロダクトによる (表 1-2 Product ID 参照)
プロダクトバージョン	ProductVersion	AAAA....AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	プロダクトによる
アクセスレベル	AccessLevel	N	0-4 の数値	N/A

(\*1) データファイル名にはプロダクトのファイル名を格納する。デタッチド形式の場合は、データファイルの名前を格納する。

### 【カタログ情報ファイルサンプル:UPI-TEX プラズマ圏画像プロダクト】

DataFileName =texi\_060505232619\_open.img  
 DataFileSize =98432  
 DataFileFormat =128x128pixels  
 InstrumentName =UPI  
 ProcessingLevel =Standard  
 ProductID =UPI\_TEX\_moon\_level2a  
 ProductVersion =1.0  
 AccessLevel =3

### 3. UPI-TVIS 画像

#### 3.1 ファイル命名規約

UPI プロダクトファイルを構成するラベル、カタログ情報ファイルの命名規約を以下に示す。なお、ファイル名は大文字、小文字の区別はしない。

表 3-1 UPI プロダクトファイル命名規約

データ種別	セパレータ	日時	セパレータ	データ処理レベル	拡張子
tvis	_	YYMMDDhhmmss	_	open	.xxx
①	②	③	④	⑤	⑥

No	項目	桁数	内容
①:	データ種別	4	tvis:TVIS
②:	セパレータ	1	セパレータ。「_」に固定。
③:	年月日時分秒	12	観測開始日時を示す。YYMMDDhhmmss
④:	セパレータ	1	セパレータ。「_」に固定。
⑤:	データ処理レベル	4~6	データ処理レベルを示す。 open :公開データ
⑥:	拡張子	4	.sl2:L2 データセット (tar アーカイブ) .img:プロダクト .lbl:ラベル .ctg:カタログ情報ファイル

#### 【ファイル名サンプル】

texi\_070214074835\_open.sl2

### 3.2 ラベルフォーマット

UPI-TVIS プロダクトの IMAGE オブジェクトラベルフォーマットを表 3-2 に示す。UPI-TVIS の IMAGE オブジェクトのラベルには、基本項目、画像データオブジェクトフォーマット記述部が含まれる。

表 3-2 において、【固定】と示された以外の項目については、プロダクトの種別等に応じた数値、文字列が設定される。

表 3-2 UPI-TVIS IMAGE オブジェクトラベル

No.	項目名	要素	型	値
<b>基本項目</b>				
1	PDS バージョン宣言	PDS_VERSION_ID = %s	char	PDS3 【固定】
2	ファイルレコード形式	RECORD_TYPE = %s	char	UNDEFINED 【固定】
3	ファイル名	FILE_NAME = %s	char	3.1 節 ファイル命名規約 参照
4	ミッション名	MISSION_NAME = %s	char	SELENE 【固定】
5	探査機名称	SPACECRAFT_NAME = %s	char	SELENE-M【固定】
6	センサ名	INSTRUMENT_NAME = %s	char	UPI 【固定】
7	プロダクト ID	PRODUCT_SET_ID = %s	char	表 1-2 Product_ID 参照
8	積分開始日時	START_TIME = %s	char	YYYY-MM-DDThh:mm:ss
9	積分時間	EXPOSURE_TIME = %s	float	X.XX <秒>
10	使用フィルタID	TVIS_FILTER_ID = %d	int	0 : CLOSED 1 : >730nm 2 : Na589nm 3 : N2+428nm 4 : O630nm 5 : O558nm
11	ジンバル Az 角	AZIMUTH_ANGLE = %f	float	XXX.XXX<°>
12	ジンバル El 角	ELEVATION_ANGLE = %f	float	XXXX.XXXX <°>
13	TVIS CCD 温度	TVIS_CCD_TEMPERATURE = %f	float	XXX.XX<°C>
14	プロダクトバージョン	PRODUCT_VERSION_ID = %s	char	Ver.X.X
15	観測対象名	TARGET_NAME = %s	char	moon 【固定】
16	コメント	COMMENT_TEXT = "%s"	char	
17	画像オブジェクト先頭位置	^IMAGE = %d <BYTES>	int	0 <BYTES> 【固定】
<b>画像データオブジェクトフォーマット記述部</b>				
		OBJECT = IMAGE		
18	画像縦方向画素数	LINES = %d	int	XXX
19	画像横方向画素数	LINE_SAMPLES = %d	int	XXXXX
20	画素タイプ	SAMPLE_TYPE = %s	char	MSB_INTEGE R【固定】 ※MSB_INTEGER の詳細については、PDS standard reference V3.5 Appendix C.1 を参照
21	画素ビット長	SAMPLE_BITS = %d	int	XX
22	バンド格納種別	BAND_STORAGE_TYPE = %s	char	BAND_SEQUENTIAL 【固定】 ※PDS standard reference V3.5 Appendix A.19 IMAGE を参照
23	バンド数	BANDS = %d	smallint	1 【固定】
24	想定外値の代替値	INVALID_CONSTANT = %s	char	0 【固定】
25	オフセット	OFFSET = %f	float	0.0 【固定】
26	スケーリングファクター	SCALING_FACTOR = %f	float	1.0 【固定】
		END_OBJECT = IMAGE		
<b>終了記述</b>				
		END		

【ラベルサンプル:UPI-TVIS 画像プロダクト】

PDS\_VERSION\_ID =PDS3

```

RECORD_TYPE                =UNDEFINED
FILE_NAME                  =tvis_080209133502_level2.img
MISSION_NAME               =SELENE
SPACECRAFT_NAME           =SELENE-M
INSTRUMENT_NAME           =UPI
PRODUCT_SET_ID            =UPI_TVIS_level2a_DK
START_TIME                 = 2008-02-09T13:34:58
EXPOSURE_TIME             =0.125
TVIS_FILTER_ID            =0
AZIMUTH_ANGLE             =80.1448
ELEVATION_ANGLE           =23.6155
TVIS_CCD_TEMPERATURE      =-37.03
PRODUCT_VERSION_ID        =Ver.1.0
TARGET_NAME               =moon
COMMENT_TEXT              =Image taken from Lunar orbit
^IMAGE                    =0 <BYTES>

OBJECT =IMAGE
  LINES =512
  LINE_SAMPLES             =262144
  SAMPLE_TYPE             =MSB_INTEGER
  SAMPLE_BITS             =10
  BAND_STORAGE_TYPE       =BAND_SEQUENTIAL
  BANDS                   =1
  INVALID_CONSTANT        =0
  OFFSET                  =0.0
  SCALING_FACTOR          =1
END_OBJECT                =IMAGE

END

```

### 3.3 データオブジェクトフォーマット

UPI-TVIS 画像のデータオブジェクトフォーマットの概要を以下に示す。

- ピクセル:
  - ✓ UPI-TVIS: 512×512 ピクセル
- データ型: 実数
- データ単位: Rayleigh

### 3.4 カタログ情報ファイルフォーマット

UPI プロダクトの IMAGE オブジェクトカタログ情報ファイルフォーマットを表 3-3 に示す。

**表 3-3 IMAGE オブジェクトカタログ情報ファイルフォーマット**

項目名	要素	設定値のフォーマット	設定値の範囲	設定値
データファイル名(*1)	DataFileName	AAAA...AAAA (最大 31 桁)	任意の英数字	プロダクトによる (3.1 節 ファイル命名規約 参照)
データファイルサイズ	DataFileSize	NNNNNNNNNNNNNN (最大 12 桁)	単位:バイト	プロダクトによる
データファイルフォーマット	DataFileFormat	AAAA...AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	PDS【固定】
機器名	InstrumentName	AAAA...AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	UPI【固定】
処理レベル	ProcessingLevel	AAAA...AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	プロダクトによる (表 1-2 処理レベル 参照)
プロダクト種別	ProductID	AAAA...AAAA (最大 30 桁)	任意の文字列	プロダクトによる (表 1-2 Product ID 参照)
プロダクトバージョン	ProductVersion	AAAA...AAAA (最大 16 桁)	任意の文字列	プロダクトによる
アクセスレベル	AccessLevel	N	0-4 の数値	N/A

(\*1) データファイル名にはプロダクトのファイル名を格納する。デタッチド形式の場合は、データファイルの名前を格納する。

#### 【カタログ情報ファイルサンプル:UPI-TVIS 画像プロダクト】

DataFileName =tvis\_080209133502\_level2.img  
 DataFileSize =1048576  
 DataFileFormat =PDS  
 InstrumentName =UPI  
 ProcessingLevel =Standard  
 ProductID =UPI\_TVIS\_level2a\_DK  
 ProductVersion =1.0  
 AccessLevel =3